

令和5年度事業報告書

目 次

1	障害者スポーツ大会の開催	1
2	全国障害者スポーツ大会等への選手派遣	1
3	障害者スポーツ団体の育成・拠点整備	2
4	障害者スポーツ人材の育成	3
5	障害者スポーツの普及啓発	4
6	(公財)日本パラスポーツ協会受託事業	6
7	関係機関との連携	6

※ 補足する重要事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

令和5年度事業報告

1 障害者スポーツ大会の開催

(1) 第17回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

開催日	競技	対象	会場	参加
5月4日(木)	陸上、フライングディスク	車いす	ユニバー記念競技場	45
5月12日(金)	卓球	精	県立障害者スポーツ交流館	17
5月13日(土)	卓球	身・知	県立障害者スポーツ交流館	102
5月14日(日)	水泳	身・知	三木山総合公園屋内プール	88
5月19日(金)	バレーボール	精	県立障害者スポーツ交流館	20
5月20日(土)	バスケットボール バレーボール	知	県立障害者スポーツ交流館	40 -
5月20日(土)	ボウリング	知	神戸六甲ボウル	40
5月21日(日)	ボッチャ	身	県立障害者スポーツ交流館	13
5月27日(土)	陸上競技	身・知	県立三木総合防災公園	337
	フライングディスク	身・知・精		209
	ソフトボール	知		66
	サッカー	知		150
5月28日(日)	サウンドテーブルテニス	視	県立障害者スポーツ交流館	41
計				1,168

※身…身体障害者／知…知的障害者／精…精神障害者／視…視覚障害者

(2) 兵庫ユニバーサルマラソン開催事業

開催日 令和6年3月30日(土)

開催場所 県立尼崎の森中央緑地

開催内容 ① FUN ラン&ウォーク

② 車いすロードレース (車いすユーザー対象) 約8kmのタイムレース

③ ユニバーサルリレー (障害の有無不問) 8kmを2~7人でリレー

パラスポーツ体験会、+NUKUMORI マルシェ等

参加人数 約200人 (選手136人、スタッフ65人、ほか体験会多数来場)

2 全国障害者スポーツ大会等への選手派遣

(1) 特別全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム(団体競技)を決定する近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣。

令和5年度は、兵庫県主催でバレーボール(知的・精神)近畿地区予選会を実施。

開催日 令和5年6月3日(土) 4日(日)

場所 県立障害者スポーツ交流館(神戸市西区)

【近畿地区予選会】

競 技	R 5 年度 主催者	R 6 年度 主催者
車椅子バスケットボール(身体)	近畿車いすバスケットボール連盟	
バスケットボール(知的男子・女子)	堺市	滋賀県
バレーボール(聴覚男子・女子)	近畿ろうあ連盟	
バレーボール(知的男子・女子)	兵庫県	和歌山県
バレーボール(精神)		
グランドソフトボール(視覚)	(社福)日本盲人会連合近畿ブロック協議会	
ソフトボール(知的)	奈良県	神戸市
サッカー(知的)	大阪府	兵庫県

近畿地区連盟等がない競技は、近畿府県・政令市が持ち回りで開催

(2) 特別全国障害者スポーツ大会への選手派遣・育成

鹿児島県で開催された特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に兵庫県選手団を派遣。また、派遣選手の競技力向上のため合同練習会を開催した。

大会期間 令和5年10月28日(土)～10月30日(月) 3日間

開催場所 鹿児島市 ほか

派遣人数 兵庫県選手団125名(選手72名・役員、スタッフ等53名)

成 績 メダル 金24 銀24 銅21(全67選手団中8番目)

大会新記録

水泳：女子壮年 25m自由形

女子2部 25m背泳ぎ、25mバタフライ、50m自由形 ※

男子壮年 25m自由形、50mバタフライ

※ 女子2部の50m自由形は2名(障害区分が異なる)が樹立

(3) 全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催された全国車いす駅伝競走大会に兵庫県チームを派遣した。

開催日 令和6年3月9日、10日

会 場 国立京都国際会館前～たけびしスタジアム京都

成 績 8位(全15チーム)

3 障害者スポーツ団体の育成・拠点整備

(1) 競技別県大会開催支援

競技団体の競技力向上や競技人口の拡大のため、団体が主催する競技大会等の開催に要する費用を助成した。

助成実績 26団体(令和4年度実績24団体)

対象団体 35団体

助 成 額 上限9万円

(2) 競技別全国大会等派遣支援

競技団体の競技力向上を図るため、団体が行う全国大会等(国際大会含む)への選手派遣に要する費用を助成した。

助成実績 17 団体 (令和4年度実績 16 団体)
対象団体 35 団体
助成額 上限6万円

(3) 競技別団体設立支援

全県的な競技人口の拡大を図るため、その競技において県を代表する連盟・協会等の新たな設立に要する費用を助成する。

助成実績 なし (令和4年度実績なし)
助成額 上限5万円

(4) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援

障害者スポーツのすそ野の拡大を図り、障害の有無に関係なく、誰もが障害者スポーツを楽しむことができる大会やイベント等の開催に要する費用を助成した。

助成実績 10 大会 (令和4年度実績 10 大会)
助成対象 10 大会 (ひょうごパラスポーツ指導者協議会各支部主催)
助成額 上限4万円

(5) 地域における障害者スポーツ推進拠点の整備

県立特別支援学校、企業、大学、団体等の体育施設を地域における障害者スポーツの拠点として活用するため、支援員(近隣の障害者スポーツ指導員等)による管理運営、活動指導等の支援を行った。

回数 121 回
利用人数 2,745 人

4 障害者スポーツ人材の育成

(1) 障害者アスリートマルチサポート事業の実施

専門的指導者の技術指導、栄養学等の講座、用具メンテナンスやリハビリの指導、記録会、一般スポーツ団体との交流等、多面的な支援を行うことにより障害者アスリートの総合的な競技力向上を図るとともに、一般競技者と双方向の交流によるパラスポーツへの参画者の増大を目指す。

また、次代を担うパラアスリートの発掘育成を目的に、全国大会等をめざす意欲あるジュニア(小中学生等)を対象に、ジュニア指導に精通した指導者による技術指導など、ジュニアに特化した多面的な支援を実施した。

- ・競技指導者による専門的技術指導を実施 32 回 (令和4年度実績 29 回)
実施競技 陸上競技/卓球/アーチェリー/水泳/ボッチャ/バレーボール
- ・一般スポーツ団体との交流、記録会、競技会 7 回 (令和4年度実績 9 回)

(2) 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会の開催

地域における障害者スポーツ指導者養成のため、公益財団法人 日本パラスポーツ協会公認「初級パラスポーツ指導員」の養成講習会を開催した。

受講資格 県内に居住又は勤務(在学)する 18 歳以上の者

日 程 講義：令和 6 年 1 月 8 日(月・祝)、13 日(土)、20 日(土)
実技：令和 6 年 1 月 21 日(日)

会 場 兵庫県民会館(神戸市中央区)／障害者スポーツ交流館(神戸市西区)

受講者数 40 人 (令和 4 年度実績 46 人)

5 障害者スポーツの普及啓発

(1) パラスポーツ王国 2023 の開催

障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことのできる参加型のイベントを開催した。(神戸市との共同開催)

開催日 令和 5 年 11 月 3 日 (金・祝)

場 所 しあわせの村 (神戸市北区)

内 容 ・障害者スポーツ 19 競技の体験会
・青空市場 (県立特別支援学校高等部による販売会)

来場者数 のべ 3,520 人 (令和 4 年度実績 のべ 3,510 人)

(2) 第 1 回兵庫県ボッチャ大会 in 南あわじの開催

スポーツを通じた共生社会の実現のため、障害や多様性への理解促進と神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会に向けた機運醸成を目的に、年齢、性別、障害の有無に関係なく参加可能なボッチャ大会を開催した。

開催日 令和 6 年 2 月 3 日 (土)

場 所 南あわじ市立文化体育館サブアリーナ (南あわじ市)

参加チーム数 県内外の 20 チーム

(3) 障害者スポーツ出前講座の実施

小中学校、企業、福祉団体等において、障害者スポーツの出前講座を実施し、障害者スポーツへの理解・参画を促す。

実施回数 22 回 参加人数 2,648 人 (令和 4 年度実績 16 回 1,115 人)

(4) パラアスリートとの交流、パラスポーツ体験事業の実施

神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の開催を契機とした、障害者スポーツの更なる機運醸成を目的に、小中学生等 (健常者と障害者との交流を想定) を対象とした、パラアスリートとの交流やパラスポーツ体験事業を実施した。

- ・本県ゆかりのパラアスリートによる講演や競技指導
- ・ボッチャやブラインドサッカー等のパラスポーツの体験事業

【開催内容】

回	地域	開催日	内容	講師
1	西播磨	9月11日	陸上、車いすバスケットボール	白砂匠庸、古崎倫太郎
2	北播磨	11月8日	車いすテニス	上地結衣
3	丹波	12月15日	電動車椅子サッカー	Red Eagles 兵庫
4	淡路	2月	ボッチャ	(学級閉鎖のため延期)
5	阪神	3月30日	(ユニバーサルマラソンと合同)	大矢勇気

(5) スポーツ協会広報誌の発行

当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した広報誌を発行し、各都道府県・県内各市町・関係団体・障害者スポーツ指導員等に配布。

年1回発行 1,500部

(6) パラリンピック写真展・障害者スポーツ絵画展の開催

小中学校・施設等において写真展・絵画展を実施することにより、障害者スポーツへの理解を促す。

写真展 実施回数13回(令和4年度実績 11回)

絵画展 実施回数3回(令和4年度実績 2回)

(7) 兵庫県障害者スポーツ功労賞、特別優秀選手賞、優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。

受賞者 兵庫県障害者スポーツ功労賞 2人 [令和4年度3人]

兵庫県スポーツ優秀選手賞 54人 [令和4年度40人]

兵庫県障害者スポーツ特別優秀選手賞 2人 [令和4年度3人]

兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞 60人と1団体 [令和4年度71人]

表彰式 令和6年2月14日(水) 神戸常盤アリーナ(神戸市長田区)

(8) 国際大会出場選手への激励金の贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手の表敬訪問及び激励金の贈呈を実施した。

対象大会 パラリンピック(5万円)、
デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会、アジアパラ競技大会(3万円)
その他 理事長が認める大会

実績 2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ベルリン出場選手1人
杭州アジアパラ競技大会出場選手22人
(令和4年度 第24回夏季デフリンピック3人)

6 (公財)日本パラスポーツ協会受託事業

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」や「地域におけるパラスポーツ振興事業」など、当協会の目的と合致する事業について積極的に受託し、実施した。

① 「初級パラスポーツ指導員養成講習会」(再掲)

② 「地域におけるパラスポーツ振興事業」

- ・タンデムサイクリングプロジェクト
- ・水辺のユニバーサルアクティビティ
- ・ブラインドラグビー！しっとう

③ 「障害者スポーツ環境の構築支援事業」(申請中)

- ・障害者スポーツ用具(競技用車いす、シッティングバレー用具等)を購入し、体験会等に活用

7 関係機関との連携

(1) 障害者スポーツ応援協定による取組

大学や企業、団体等との間で「障害者スポーツ応援協定」を締結し、練習場所の提供やボランティア派遣等、様々な形での障害者スポーツへの参画・支援を推進する。

協定締結団体 89 団体 (大学等 20、企業 58、団体 11)

(2) 障害者スポーツネットひょうごとの連携

県内の障害者スポーツ関係団体・施設等を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、協働事業の展開や、情報共有を行う。

(3) ひょうごパラスポーツ指導者協議会との連携

地域で活動する指導者で構成する「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」の一層の活性化を図り、県内障害者スポーツの振興に資するため、指導者協議会との密接な連携協力のもと、各種大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣等を行った。

(4) 神戸世界パラ陸上、ワールドマスターズゲームズ関西主催団体との連携

新型コロナ禍の影響により実施が延期されている両大会の開催に向け、各主催団体や関係団体との連携・協力を進める。

(参考) 財政基盤の強化

(1) 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に兵庫県障害者スポーツ協会だより送付の機会等を活用し、広く加入を呼びかける。

賛助会費 185,100 円 (令和 4 年度実績 305,170 円)

(2) 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告収入の拡大を目指す。

のじぎく大会協賛金 468,360 円（令和4年度実績 449,680 円）

一般寄付 3,000,000 円（令和4年度実績 2,100,000 円）

（3）障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機設置台数の増加を推進するため、学校・企業等に対して設置協力を依頼する。

設置台数 61 台（令和4年度実績 61 台）